

平成29年度 旭川歯科学院専門学校 学校自己評価結果報告書（集計）

1. 学校の教育目標

<教育目標>豊かな人間性を有し、歯科衛生士としての優れた技を磨き、良き社会人を目指す。
 <基本方針>*具体的な方策
 1. 全ての学習活動において、謙虚さを育み、気節を鼓舞し、創造への意欲づけを図る。
 2. 口腔衛生の普及と進展を図り、地域社会と連携し社会貢献に努める

2. 本年度の重点課題（目標及び計画）

1. 教育 合格率100%（国家資格） 就職率100%
 2. 地域社会との密接な連携を保ち口腔衛生の普及に尽力し、積極的に社会貢献に努める

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 建学の趣旨と教育の方針（教育理念・目標）

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・学校の建学の趣旨と教育の方針は定められているか。	4	3.6	3	2	1
・将来的展望を踏まえて学校の将来構想を抱いているか。	4	3.4	3	2	1
・学校の建学の趣旨・教育の方針・将来構想は学生・保護者等に周知されているか。	4	3.4	3	2	1

① 課題

- ・教育理念と目標を基に、将来の学校構想を短・中・長期に分け、明確化する必要がある。
- ・学生の理解、保護者への周知には工夫・改善が必要である。

② 今後の改善方策

- ・学生数の定員確保のための努力と経営組織のダウンサイジングを検討。
- ・時代に合わせた学院の将来像を明確にし、様々な機会と方法を使い学生及び保護者に周知する。

③ 特記事項

- ・特になし

(2) 学校経営方針（学校運営）

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・教育理念・目標に沿った学校経営方針が策定されているか。	4	3.13	3	2	1
・学校経営方針に基づき、組織は有機的に機能しているか。	4	3	2.7	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4	3.2	3	2	1
・地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか。	4	3.9	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	3.2	3	2	1

① 課題

- ・組織が有機的に機能しているか不透明な面が見受けられる。組織の機能向上が求められる。
- ・学校経営に関しては、シビアに現実を受け止め、より現実的な改善と対策が必要である。

② 今後の改善方策

- ・教職員の意識改革は困難ではあるが、具体的項目を全員で共有するなど日々工夫ある取組みを実践する。
- ・外部の経営専門家の意見等を取り入れ、新しい視点で考える組織等を構築する。

③ 特記事項

- ・特になし

(3) 教育活動（各学年指導計画）

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・教育理念・目標に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3,3	3	2	1
・カリキュラム（実習等を含む）は体系的に編成され学習時間の確保は明確化されているか。	4	3,6	3	2	1
・成績評価・単位認定・進級・卒業の基準は明確化されているか。	4	3,5	3	2	1
・教育の方針（人材育成）達成に向けた授業担当教員を確保しているか。	4	3,1	3	2	1
・教員の先端知識・技能等の習得及び指導力育成などの資質向上のための取り組みは行われているか	4		3	2	1

①課題

- ・教育内容充実のために、教員確保や人材育成の将来的な展望が明確でない。
- ・学生教育における、特に歯科医療現場（実習）における目標をより具体的に定める必要がある。

②今後の改善方策

- ・教職員のスキルアップのための校内研修の実施や外部教育機関の研修会等の積極的な参加。
- ・新人教員が根付く環境やシステムの構築と仕事の合理化の検討。
- ・カリキュラムの検討が必要である。（具体的には、2年次の臨地実習と口腔ケア・臨床実習先のバランス等）

③特記事項

- ・特になし

(4) 学修成果

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・就職率の向上が図られているか。	4	3,6	3	2	1
・国家試験合格率の向上が図られているか。	4	3,5	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4		3,2,9	2	1
・卒業後の生徒のフォローアップなされているか。	4		3	2,7	1

①課題

- ・本校卒業生に対するフォローアップの向上と卒業後追跡調査の充実が求められる。
- ・学生に対する日常生活の支援体制と進路変更の学生に対する指導強化が必要である。
- ・国試対策も含め学業習得をより精度を高めるために、教員の日々の向上心・研修が不可欠である。

②今後の改善方策

- ・昨年度から卒業後勉強会を定期的実施している。研修のプログラムは、より魅力あるよう内容を精査することが必要である。
- ・学生との面談の時間を定期的に確保し、同窓生としての良い人間関係を構築し、日常指導に活用する。
- ・卒業後の動向等、情報の共有化を図る。

③特記事項

- ・特になし

(5) 学生支援

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3,6	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3,3	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4		3,1	2	1
・学生の健康管理を担う体制はある。	4		3,2	2	1
・学生への生活環境への支援は行われているか。	4		3	2	1
・保護者と適切に連携しているか。	4		3	2,9	1
・卒業生への支援体制はあるか。	4		3	2,8	1

①課題

- ・経済的な支援体制は徐々に整備されているが、それでも経済的理由等で途中退学せざるを得ない生徒がいる。
- ・就職した卒業生に対する再就職の支援体制の整備が必要である。

②今後の改善方策

- ・卒後勉強会（研修）を軌道にのせ、卒後の再就職等の組織的支援体制を構築する。
- ・保護者への積極的な連携を図る必要があり、生活環境・経済的問題等の把握を学校全体で実施する。

③特記事項

- ・特になし

(6) 教育環境

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	4	3,3	3	2	1
・学内外の実施施設等について十分な教育体制を整備しているか。	4	3,3	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3,5	3	2	1

①課題

- ・臨床実習先により教育環境の違いがあり、調整が必要である。
- ・施設が新築されから十数年を経て、整備する必要がある。

②今後の改善方策

- ・より充実した教育環境を維持するために、今まで以上に定期的な点検が必要で、改善が必要な個所はその都度、修理・修繕の整備が必要。

③特記事項

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・学生募集活動は適性に行われているか。	4	3,8	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3,5	3	2	1
・学費等納入金は妥当なものとなっているか。	4	3,4	3	2	1

①課題

- ・高校生へのさらなる「歯科衛生士」という職業の認知を高める方策が必要。
- ・学生募集に関しては、常に工夫がなされているが、不十分な点を探る努力が必要。

②今後の改善方策

- ・学生の確保は、絶対の具備要件であり、今後も継続した学生募集に尽力してゆくべきである。

③特記事項

(8) 財務

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・中期的に学校の財政基盤は安定しているか。	4	3	2,7	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	3,9	3	2	1
・財務について会計監査が適性に行われているか。	4	3,4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3,1	3	2	1

①課題

- ・学生数減少という厳しい現状を踏まえて、常に財務状況を把握しておくべきである。

②今後の改善方策

- ・学校教育に必要なもの、不要なものの選別を徹底し、より高度な教育を実現する。
- ・学生確保のため、様々な方策を取りながら入学促進に力を入れる。

③特記事項

- ・特になし

(9) 地域社会貢献

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・臨地実習等を通して生徒・教員による地域社会貢献を行っているか。	4	3,2	3	2	1

①課題

- ・地域社会活動は率先して行うべきで、実際、臨地実習にて保健指導を行っているが、市民に旭川歯科学院の存在が知られていない。

②今後の改善方策

- ・歯科学院専門学校の認知度を高める方法を模索すると同時に、地域（区域）住民や企業との連携を図る。

③特記事項

- ・特になし

(10) 法令等の遵守

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされているか。	4	3,3	3	2	1
・個人情報に関して、その保護のための対策がとられている。	4	3,3	3	2	1
・学校自己評価の実施と問題点の改善を図っている。	4	3,2	3	2	1
・学校自己評価結果を公開している。	4	3,3	3	2	1

①課題

- ・今後、学校外部評価を実施し、学校改善に役立てる手立てが必要である。

②今後の改善方策

- ・パソコン管理のさらなる徹底を図る。特に、個人情報の管理を徹底する。
- ・より明確にしたビジョンを示しながら、第三者による学校評価を実施していく。

③特記事項

- ・特になし